

## No.11 なぜなぜ分析実践研修—現場/スタッフ編

〔対象〕 製造、生産技術、品質保証、開発、事務・間接のスタッフ

〔特徴〕 ・「攻め方を変える」—品質クレームや工程内不良、機械故障といった職場の問題点を解決するためには、事象をよく見て“Q.C的にアプローチして”真因をつかむことが大切です。  
 ・問題(事象)のメカニズムを解明し、真因を追求することが「なぜなぜ分析」のねらいです。  
 現象の分析から真因追求、対策の検討までを現実のテーマを設定し、演習を交えて進めます。

〔カリキュラムと開催日〕 開催時間は9：30～17：00

講	内容	第109回	★第110回	第111回	第112回
1	①はじめに	4月21日 (金)	フォローサービス付 5月26日 (金)	6月20日 (火)	7月19日 (水)
	②分析の基本となるQC手法、 「特性要因図」と「系統図法」の違い				
	③「なぜなぜ分析」の基本的な使い方	★第113回	第114回	第115回	第116回
	④真因追求のポイント	フォローサービス付 10月13日 (金)	11月20日 (月)	12月19日 (火)	2024年 2月22日 (木)
⑤原理・原則から入る「なぜなぜ分析手法」の使い方					
⑥製造部門における「なぜなぜ分析」の使い方					
⑦「なぜなぜ分析手法」の実践					

〔講師〕 浅川 富昭氏 (中部品質管理協会)

〔会費〕 会員： 19,800円(税込) 一般： 25,300円(税込)

★第110回(5/26)、第113回(10/13)会費(フォローサービスセット価格)

\*第110回、第113回は、フォローサービスのみ、講義のみの受講はできません。

会員： 27,500円(税込) 一般： 33,000円(税込)

〔会場〕 名古屋市中村区那古野1丁目47番1号(名古屋国際センタービル11階) 中部品質管理協会 研修室

TEL:052-581-9841 FAX:052-565-1205

FAX (052) 565 - 1205

年 月 日

### 2023 年度申込書

研修名	なぜなぜ分析実践研修—現場/スタッフ編	開催月	4月	5月	6月	7月	10月	11月	12月	2月
-----	---------------------	-----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----

<申込責任者用記入欄>

会社名		TEL	
郵便番号	〒	所在地	
氏名(フリガナ)		所属役職	
E-mail			

<参加者用記入欄>

※	氏名 (フリガナ)	所属・役職	E-mail
会費	参加費		* 参加者数 = 合計
	会員 19,800円(税込)		* 名 = 円
	一般 25,300円(税込)		* 名 = 円
	フォローサービスセット価格(第110回、第113回)		* 参加者数 = 合計
	会員 27,500円(税込)		* 名 = 円
	一般 33,000円(税込)		* 名 = 円
	振込先 三菱UFJ銀行 名古屋駅前支店 普通預金 No.0295709 口座名：一般社団法人 中部品質管理協会		

★請求書の発行は開催初日の約2週間前に送付させていただきます。振込手数料は貴社でご負担下さい。

★銀行振込でのご送金の場合は、振込受領証をもって領収証に代えておりますのでご了承下さい。

★キャンセル料につきましてはセミナー開催日5営業日前から発生いたします。

<当協会用記入欄>

事業CD	020 (109PM)	021 (110PM)	022 (111PM)	023 (112PM)			
	024 (113PM)	025 (114PM)	026 (115PM)	027 (116PM)			
会社CD	責任者CD						

★開催日は都合により変更する場合があります。直近のパンフレットで日程の確認をお願いします。

瀬川

# なぜなぜ分析実践フォローサービス

第110回(5/26)、第113回(10/13)には「なぜなぜ分析実践フォローサービス」が付きます。

[趣旨] ・なぜなぜ分析実践フォローサービスは、研修で身に着けた「**知識**」、「**手法**」を、問題解決の「**スキル**」に変えることを目的にしています。

・セミナーで体験いただいた演習は、一般的な事例です。今度は“**ご自身の事例課題**”に取り組んで頂きます。

「なぜなぜ分析」はゴルフと同じです。ゴルフの本を何十冊も読んで、ゴルフの知識をすべて理解した人でも、いざコースに出て、いきなり良いスコアを出すことはできません。

ゴルフを上達させるには、「**知識**」と「**訓練**」が大切なのです。

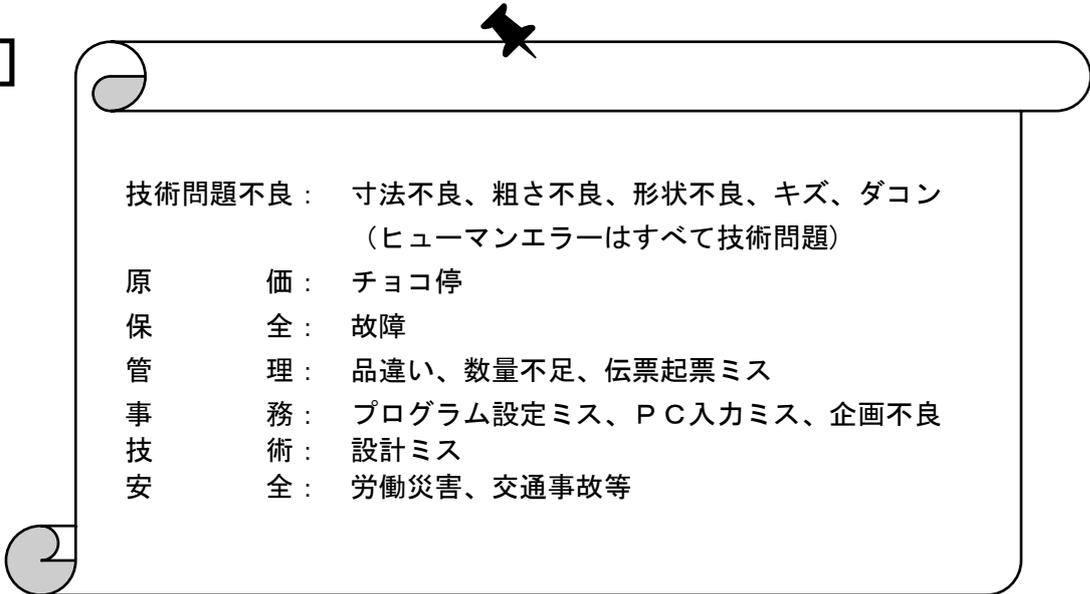
同じように、「なぜなぜ分析」を用いて、職場の問題を解決するには、研修で「**知識**」を十分身に着けた後は、フォローサービスにて、ご自身の事例課題に取り組むことで「**訓練**」することが必要です。

[手順]

- 1 分析の規定のフォームに取り組み事例と課題を記入いただき、それを提出。
- 2 講師はそれを1～2回添削し、個別にフォローします。

\*注：課題添削は個別対応となりますのと、共有頂いたデータは守秘義務いたします。

## [対応事例]



技術問題不良：	寸法不良、粗さ不良、形状不良、キズ、ダコン (ヒューマンエラーはすべて技術問題)
原価：	チョコ停
保全：	故障
管理：	品違い、数量不足、伝票起票ミス
事務：	プログラム設定ミス、PC入力ミス、企画不良
技術：	設計ミス
安全：	労働災害、交通事故等